



ロータリーは機会の扉を開く

会報

2020 ▶ 2021
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

60年の歴史に敬意と感謝を
そして、これから100年に
向けての礎を築こう!

会長/辻本 哲也 幹事/燕 美雪

プログラム

- | | | |
|--|--------------------------|--------------------|
| ● 本日
「ガバナー公式訪問」
RI第2510地区第一G ガバナー 福井 敬悟氏 | 会員誕生日
宮尾 幸之助
関野 紘史 | 特別慶祝(還暦)
宮尾 幸之助 |
| ● 次週予定
「移動夜間例会」 | 配偶者誕生日
對馬 真澄 | |

No. 2871

第6回 8月19日

出席報告

前例会

会員総数	27名
出免会員	3名
出免出席	3名
基準会員出席	20名
出席率	74.07%

前々会

第4回 7月29日	
欠席会員	10名
内メイクアップ	0名
修正出席率	66.66%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

1. 7月29日18時30分より産業会館議員クラブ室において第2回理事役員会を開催いたしました。会長幹事を励ます会の決算報告、ガバナー公式訪問のタイムスケジュール、会計報告、9月例会スケジュールを承認いたしました。

👤 幹事報告

- 深川RCより7月会報並びに8月例会案内を受領しました。
- 芦別RCより7月会報並びに8月例会案内を受領しました。
- 赤平RCより8月例会案内を受領しました。
- 福井ガバナーより令和2年7月3日の熊本豪雨に対しての義援金のお願いが来ています。

本日募金ボックスを回しますので、一人1000円以上でご協力をお願いします。

- 国際ロータリー 2510地区青少年交換委員会より、2021~22年度青少年交換派遣学生募集要項が届いております。15歳以上19歳未満のロータリーの親善大使としてふさわしい学生を募集しています。応募を希望される方がおりましたら幹事まで連絡下さい。
- 日本のロータリー 100周年実行委員会より、記念切手発行の連絡をいただきました。9月18日に発行・発売されますので、購入ご希望の方は最寄りの郵便局でお求め下さい。

👤 委員会報告

親睦活動委員会 西谷委員長
既に皆様にはFAXにて連絡をいたしておりますが、8月19日のガバナー公式訪問後のガバ

第5回 8月5日(水) 天候/晴

ナー歓迎会を礼受牧場にて開催いたします。出欠の確認で参加人数は20名プラス4名となっております。まだ出欠の確認が取れない方が6名おります。また、バスを出す予定ですが、出席会員の自宅を回る事となりますのでよろしくお願ひします。相乗りで行かれる方も後ほど連絡をいたします。

~~~~~  
国際ロータリー第2510地区第1グループ

ガバナー補佐 澁谷 賢治様

今年度第1グループガバナー補佐深川クラブの澁谷でございます。本日同道したのはパスト会長の佐々木ガバナー補佐室長でございます。1年間よろしくお願ひいたします。

まずは富士前会長さん、串橋前幹事さんコロナの中で大変な思いをされましたが、これからはクールダウンをしてゆっくりしていただければと思います。最近では2回目の会長さんという事もございますので、富士さんには頑張っていたいただければと思います。串橋さんには3年間頑張っていたいただければと思います。留萌クラブのアットホームな、それでいて、奉仕の精神がある紳士の会という、この雰囲気 genuinely 私には大好きであります。95年-96年の時には留萌クラブさんには117名の会員が在籍し、10数年それを維持されておりました。私も何度も留萌クラブを訪問しましたが、本当に毎回驚きの例会でした。それが留萌クラブの私の印象でした。

現在はどこのクラブも会員の減少が進み、増強に力を入れている状況になっております。増強の増は人を増やす事。強は質を上げる事です。この様に理解していただければと思います。私達はロータリアンとして奉仕の精神を持ってこのクラブに参加をしています。会員の増強については是非とも皆さんで審議をしながら少しずつでも増やしていただければと思います。1点情報なのですが、2019年の規定審議会で会員の身分が変更になりました。一業種一人、同業者でも何名まで、シニアアクティブ等々色々な規定の中で会員を増やして参りましたが、これからは公職の身分でも会員になれる、選挙・任期を持って公の公僕に付いている方でもこれからは正会員として認めていく事になりました。同じ職業人については枠はありません。何人でも入会する事が出来ます。クラブは職業人に限ら

れない、誰でも入会出来る事になりました。一人でも多くの会員の獲得を期待しております。

留萌クラブは今年度60周年を迎えます。我々深川クラブも、留萌クラブが大嶋会長年度の時に60周年を迎え、多くの会員の登録をいただき大変お世話になりました。深川クラブとしてもその協力を感謝し、会員一同ご協力をしたという事を伝えに参りました。

今年度日本のロータリークラブは100周年という節目の年に当たります。辻本会長には大いにメモリアルな1年間になると思います。米山梅吉という三井銀行の頭取になられた方が東京に初めてロータリークラブを創設して100年になります。100年という節目の年が今年になります。会長・幹事さんには今年度に入る前に日本ロータリーの100年を祝うという事で、記念のピンバッチを購入していただきたいとお願ひしておりましたが、お陰様を持ちまして2510地区一番のりで第1グループが全ての会員にバッチの購入をしていただきました。ご協力に感謝いたします。

8月19日に福井ガバナーが留萌クラブに公式訪問をされますが、19日当日に留萌入して、20日に羽幌クラブへ向かう事になっております。19日夜には歓迎会をしていただけるという事で、公式訪問で歓迎会をしていただけるのは大変稀な事だと思います。留萌クラブさんでは吞涛祭りや色々な所でガバナーと交流を持たれておりますが、福井ガバナーも今回大変楽しみにしている様です。今年度、福井ガバナーは地区目標に「守、破、離」を掲げています。これは日本古来の国と国との戦争、兵法の中での言葉ですが、今は芸の道、武道の道の中でも使っております、実は福井ガバナーは小唄、長唄、都都逸など、それらの中の流派からこの守破離という言葉を見つけてきて、ロータリーに当てはめて何か出来ないものかという事でテーマとしたと聞いております。今年度R I 会長は「ロータリーは機会の扉を開く」というテーマを掲げました。本来ならば今年度はインドから会長が出る予定でしたが、健康上の理由からドイツのホルガーさんという方が会長となられております。しかし、今はドイツもヨーロッパも全土全てがコロナで大変な時期ですが、ロータリーに入会する事で貴方はチャンスを掴む事で出来るという事

です。皆さんも既に数年、何十年とロータリーに入会して経験されて実感している所だと思えます。ロータリーの会員になる事で私達は良い機会を得られる、本当に私も30年経ちますが、日々実感いたしております。ガバナーが来られて、色々な提言をされると思いますが、皆様にもお願いもあるかもしれません。これから1年間の様な奉仕活動が出来るのか、またどの様な形に変えていけるのか、また對馬実行委員長にも色々な構想があると思えますが、記念事業も色々考えなければなりません。記念事業の予算は沢山あると聞いています。皆さん会長さんを中心に今年1年頑張ってくださいと思います。地区の方でも地区委員会のメンバーが卓話の話が来て話すのを待っている状況です。ペテランのロータリアンが沢山おられますので、例会で利用してみても良いのではと思います。

雑駁な話になりましたが、1年間よろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございました。

## ニクニクBOX .....

- 本日留萌RCに訪問させていただきました。  
澁谷ガバナー補佐
- 澁谷ガバナー補佐、今日はありがとうございました。  
辻本会長
- 澁谷ガバナー補佐、ようこそ留萌クラブへ。  
高橋エレクト
- 澁谷ガバナー補佐、ようこそ留萌クラブへ。  
申橋副会長
- 松本会員と小原会員のお話楽しみです。  
福土直前会長
- 久しぶりの例会です。  
大嶋会員

|     |                 |
|-----|-----------------|
| 前 回 | 194,000円        |
| 今 回 | 12,000円         |
| 累 計 | <u>206,000円</u> |

## プログラム .....

(前回の続き 留萌振興局長 宇野 稔弘様)

私はここへ来るまではコロナ担当もやりましたが、交通が長かったので一番心配しているのがJR問題がありまして、私自身日高線の問題とか留萌線の問題など多くの自治体が絡む

と、本当に無くなって大丈夫なのかという話をよく聞きます。この辺りは道内で一番高速バスが充実している地区で、ほとんどコロナが無い状態でしたら、高速バスで稼いで路線バスの赤字を埋めるというモデルが成り立ったのですが、今ちょっと高速バスも苦戦していますが、中央バスや沿岸バスなどよくこんなに本数を走らせてるなと思います。そこにはやはりニーズがあり、バス会社もそこは戦略を立ててやっているのだと思います。この事から今後の交通体系を考えるポイントになると思います。今JRの駅前市場などありますが、やはり寂しい感があります。今、道の駅が華々しくオープンしてお互い同じ留萌市なのに人の回遊がうまくいかない状況もあって、もっともっと留萌も中心部は魅力のある物にあるのではないかと感じています。

時間が迫って来ましたので、私としては今後色々な機会を持って皆様の前で話をさせていただければと思っております。短い時間で大雑把に話してしまいましたが、これから地域の発展に繋がるワーケーション、これからデジタルを整備しますので、ワーケーションをしっかりと勧めし、コロナが終息したあかつきにはやっぱりインバウンド、宿泊施設は少ないのですが、やはりお金を地元で落とさせていただく仕組みを考えていった方が絶対良いと思っております。留萌の人間は真面目だという気質がありまして、税務課の職員が言っていた事で、税金の徴収率が非常に良く、現在道税の猶予金が10億ほどありますが、管内は数十万しかないのです。それだけ皆さんは苦しい中でも税金を納めていただいている、非常に真面目な方が多い留萌市民だとの事です。真面目な方が多い街で多くの方がいらしゃいます。開発もそうですし国の官庁も揃っていますので、外の人間が集まって来てまた散らばって行く、これをうまく利用しながら次の街づくりにつなげていただければように私どもも応援をして行きたいと思っております。国稀クラブなど色々なクラブがあり、解りにくい振興局ですが、留萌市と一緒に街づくりに頑張っていこうと思っておりますので引き続きよろしくお願ひしたいと思います。少し雑駁でしたが、これで私のお話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

## 第5回 8月5日(水) 天候/晴

### 「我が生い立ち」

小原 隆 会員

今年7月に入会させていただきました、留萌信用金庫の小原でございます。改めましてよろしく申し上げます。

仕事柄、お客様前で話す機会はあるのですが、自分の生い立ちについて改めて話す場面はありませんでしたので、今回、自分を振り返る良いきっかけになったと思います。生い立ちについて調べてみましたら、“生い立ち”とは、「生まれ育ってから成長するまでの過程」とありました。その様なわけで当たり前ですが、体の成長過程を話しても全く意味がありませんので、私の心の成長過程について話させていただきます。一つは幼少期から小学校頃までのこと、もう一つは私の娘を通して経験してきた事です。

私は昭和38年4月13日に小原家の長男として旭川市で生まれました。東京オリンピックの前の年になります。父親は国鉄職員で、母親と弟の4人家族でしたが、幼少期から父方の祖父母や父の兄弟、私から見ると叔父や叔母と一緒に暮らしてしまっていて、今でいう大家族の中で育ちました。祖父母は旭川市で農業を営んでいましたが、祖母が私の生まれた翌年に脳出血で倒れて寝たきりとなり、働き手がいなくなり農業をやめざるを得なくなり、以後、祖父は土木作業員として働き、生計を立てていましたが、収入は安定せず、長男の父親の収入も入れながら大家族で生活をしていました。今振り返れば貧しい生活をしていたと思いませんが、決して裕福ではなかったと思います。小学校や子供の頃は、川に釣りに行ったり、山に虫を採りに行ったり、冬はスキーやスケートをして毎日遊んでばかりいて、勉強はほとんどしませんでした。ただ、祖父母や叔父叔母と大家族で暮らした事、祖父母に教わった色々な事は、自分の人間形成において間違いなく影響を受けたと思っています。その後、叔父叔母も独立し、祖父母も亡くなり、家族4人で暮らす時間もありませんでしたが、ほんの短い時間だったと思います。高校は旭川市内の高校に通っていました。大した勉強もしていないのにも拘らず、大学に進学したいと思い、そのつもりでいましたが、ある朝父親に相談した所、進学は諦めるように言われ、納得出来ない所もありましたが就職に切り替え、ご縁があっ

て留萌信用金庫にお世話になりました。今考えれば進学させるほど経済的な余裕が無かったのだと思います。

昭和57年に留萌信金に入庫して、最初の勤務地は今の中央支店でした。当時の留萌市は今と違って賑わいがあり、駅の乗降客も多く、映画館やボーリング場もあり、街に活気があったのを覚えています。その後、旭川支店に転勤になりまして、今年留萌市に戻ってくるまで、旭川市内と札幌市内の店舗を転勤して歩き、今日留萌に戻って来る3月まで札幌支店長をしておりました。妻とは旭川支店勤務時に職場で知り合い、平成元年に結婚し、息子と娘の4人家族で札幌に住宅があり、現在単身赴任中です。妻は専業主婦、息子は札幌の高校を卒業後、京都の大学に進学し、現在は大阪市内に勤務しております。また娘は自宅から大学へ通っており、家族皆安寧に暮らしております。

次に私の成長過程に於いて、もう一つお話をさせていただきますと思います。それは娘を通して人の情愛に接した事です。娘は現在大学へ通っていますが、生れつき耳が全く聞こえない障害者です。娘は私が37歳の時の子供でして、それなりの歳になってから生まれた子供で、女の子だった事もあり、生れてきた時は本当にうれしかった事を覚えています。娘の耳の事に気づくのは遅くて、3歳近くになってからでした。周囲からも喋りが遅いと言われていたのですが、そのうち話すようになると思い、病院に行くのが遅くなりました。北大病院を紹介され、診察を受けて、先生から耳が聞こえないという話を聞いた時には、夫婦共々奈落の底に落ち、人生最大に打ちひしがれたものです。今でもはっきり覚えているのですが、その時頭に浮かんだことは、「普通の学校に行けないんだ」「結婚もダメだなあ」という事でした。人間不幸に陥ると悪い事ばかり考えるものです。しかし現在まで多くの皆さんの助けを受け、今日まで無事成長する事が出来た訳ですが、その様な中でも娘の事を通して出会ったお二人の方がとても印象に残っており、私の人生観に大きな影響を与えて下さったので、お話したいと思います。

一人は北大病院に初めて行った日にお会いした方です。診察が終り、一階の会計を待っていた際に、見知らぬご婦人が私共夫婦に近づいて

松本 光浩 会員

きて「大変ですね。元気を出して下さい。大丈夫ですよ。」と言う様な声を掛けて下さったのです。そして「何か困った事があればここに連絡すればきっと助かりますから」と言って一枚のメモ用紙を渡してくれました。その時は何があったのかよく理解できませんでしたが、後に分かった事ですが、札幌聾学校の一人のお母さんの名前と連絡先が書いてありました。今にして思えば私共夫婦はこの世の終わりみたいな様子で、うなだれてた姿で会計を待っていたのだなと思います。そのご婦人も耳鼻科に来ていて、自分達と同じ境遇にあり、私達夫婦と子供を見て声を掛けてくれたのだと思います。お年寄りに席を譲る事すら中々出来ない人も多い中、見ず知らずの人に、親切に声を掛けてもらい、今思い出しても感謝の気持ちで一杯ですし、もしその方にお会いできたなら、今でもお礼の気持ちを伝えたいと思っております。

もう一人の方は、それから暫くたってからお会いする事になったのですが、家内が近くの市場に買い物に行くので連れて行ってほしいと言うので、娘と3人で出かけました。ちなみにその市場は15年ほど前に無くなりました。私も何回か行った事があり、魚屋のお兄さんとも声を交わすようになっており、挨拶のあと少し会話をしして帰ろうと思えば後ろを振り返ると、入り口の八百屋のおばさんが、しゃがんで「かわいそうに、かわいそうに」と言って涙を流していたのです。私はそれを見た時に「何でこの人は泣いているのだろう」と思いました。それと同時に、私の魂の琴線に触れたような不思議な気持ちになったのをハッキリと覚えています。自分の家族や親兄弟に愛情を注ぐことは出来るかと思いますが、他者へ同じようにする事は中々出来ないものです。しかし、今お話しした2人の方々は、名前もどこに住んでいるかも知らない人達ですが、その時に受けた情愛は私の心に残り残っておりますし、自身の人間形成において大きな影響を受けました。私も願わくば人様のお役に立てるように努力をして参りたいと思っております。

この度、ロータリークラブに入会いたしました。これもご縁と思い、しっかりと社会奉仕に努めて参りたいと思っております。拙い話でしたが、ご清聴ありがとうございました。

3月に着任いたしました松本でございます。

まずは、先週起きた停電のお詫びをさせていただきます。非常に厳しい言葉を浴びせられましたが、実は2本ある送電線で作業中にもう片方の送電線に海鳥の脱糞で事故が起きました。留萌管内で1分間のブラックアウトを起こしてしまいました。皆様方の家庭には順番に復旧をして参りましたので、10分かかった所や15分かかった所もあると思います。改めて些少でございますが、テッシュとボールペンを皆様に配布をさせていただきました。どうかお許しをお願いします。

私の生い立ちより電気の説明を少しさせていただきます。まず、ピンクのチラシですが、冬の暖房について現在はエアコンが便利で安全になってという話です。昔はエアコンは電気代がかかると言われておりましたが、今は省エネが進み、春も秋もエアコンで暖を取るようになりました。冬でもマイナス25度までエアコンは使用可能になっておりますので、火を使わない安心安全の暖房器具となっております。お年寄りが多くなりましたので、火の取り扱いには十分注意する為に、エアコンを使用してはという話です。次に青いチラシですが、電気の安全ガイドについて説明しております。チラシを開いていただくと、「災害に備えてと停電した時」について書いております。停電した時には、まず外に出て見ましょう。外が全部停電している時には自分の家ではなくて、何か起きたんだという事です。ですから、そのまま待っていて下さい。それと皆さんにお願いです。自分の家のブレーカーはどこに付いているか確認しておいてください。ユーティリティ、お風呂場、裏口、玄関の前などにあります。そのブレーカーが全部上がっている事を確認する事。ブレーカーが上がっていて停電している時は外部の問題で、何か1個下がっていたり一番左側が下がっていたりするのは自分の所の問題と自覚しておいて下さい。停電になると皆さんすぐに慌ててしまいがちですが、ブレーカーの場所を確認しておき、自分の所の問題か、外部の問題かを知る事が安心につながります。それと色々な電化製品が出ていますが、1200ワットとか、何ワットとか書いていますが、そのワットから0を2つ

## 第5回 8月5日(水) 天候/晴

取った数が、アンペアの数です。30アンペア契約の家で2300ワットの家電製品を買ってしまうと、23アンペアになりますので、残りが7アンペアしか使えません。それと各コンセントに繋げるのは2000ワットまでとなっています。0を2つ取る、つまり20アンペアまでしか各コンセントでは使えません。それらを覚えておけば、自分の所で使える家電製品か、そうでないかわかります。家電製品を買うのは良いのですが家で電気工事が必要になったりする事がありますので、十分考えて家電の新規買い替えを考えていただきたいと思います。エコを皆さん考えますが、トイレのウォシュレットなどは黙っていると北電はガッポガッポと儲かっています。ウォシュレットは時代的に増えた物で、何も宣伝しなくてもウォシュレットを付ける家が増えています。実はあれには電気ポットとデンキストーブが付いています。お湯は電気ポットで、電気ストーブが便座です。便利ですので皆さん付けていただいておりますが、どんどん使用量が増えています。一日何回かしか行かないトイレに電気ですと便座を温め、お湯を温めていますので北電は24時間ずっとお金が入金されます。ですから夏場は便座の電気は消します。冬場は100均などで売っている便座カバーを付けていただければ十分使用できます。お湯は高温でなくてもOK、小で大丈夫です。冬は中でOKです。今であれば電源を切っていても良く、使う時に電源を入れても十分に使用可能です。トイレに入った時に電源を入れるとちょうど使う時にぬるま湯が出てきます。使い方を考えるとエコが進みます。私自身ウォシュレットを否定する訳ではありません。便利なものを使う事は良い事だと思います。ただ、便利だからと言って電気を入れっぱなしで電気代が高すぎるというのは如何なものでしょうか。これは家族で使い方を話し合ってみると良いと思います。青のチラシに書かれている事をよく読んで理解する事をお勧めいたします。それでは赤いチラシについてです。今までの話は北電の話で、これから話す事は私の勤めている会社についてです。北海道電力株式会社の送配電部門が2020年4月1日に分社化して「北海道電力ネットワーク株式会社」として事業を開始しました。これは何を言っているかと申しますと、電気設備の

電柱から皆様の家の部分まで全てを賄うのがこの会社になりました。電気料金、電気メニュー、発電については本体側の北海道電力が行います。設備に関わる事が我々北電ネットワーク株式会社が受け持つことになりました。本来ならばどンドン宣伝をしたかったのですが、コロナの関係で控えさせていただきました。私自身グレーゾーンの人間なので他人事のように言っていますが、北電の事もネットワークの事も話しますが、ネットワークの人間がこういう場所で話す時は、自分の設備の話しか出来ない事をご理解願いたいと思います。

会社の事はこの辺にして私の生き立ちについて少し話させていただきます。

私は今年3月に留萌市に移動になり、入社以来14回目の転勤で単身赴任8年目を迎えます。57歳にて自分の人生を振り返る機会を与えていただいた事に改めてお礼を申し上げたいと思います。私の人生を振り返ると人生のターニングポイントが3回あり、就職、結婚、剣道という3つの事についてお話をさせていただきます。

私は昭和38年6月12日生まれのO型ふたご座、周りから言われる2重人格です。後志地区の羊蹄山ふもと、倶知安町で生を受けました。私のミツヒロという名前は、プロレスラーの力道山百田光浩からいただいた名前です。昭和37年12月に当時重量挙げをしていた父が全日本アマチュア選手権で優勝してその副賞で、力道山と食事をしたそうです。当時母の腹に私がおりまして、男の子だったら先生の名前をいただくと言う約束をしており、生れた私は時間と関係なく、ミツヒロと名前を付けられた訳でございます。そのお陰か波乱万丈、ケガが絶えない波乱万丈の人生が始まっております。力道山は皆さんご存知の通り昭和38年12月にこの世を去ってしまいました。今でも我が家には力道山と一緒に撮った写真が飾られ、家宝となっております。

私は小学校から高校まで順調に育ちましたが、小学校2年生の時に隣に住んでいた方から剣道の道場に連れていかれ、そこで初めて私は剣道と出会うこととなります。倶知安高校電気科に進み、今は進学校になりましたが、当時は普通科、家政科、機械科、電気科という複合校でありました。剣道部に所属し、インターハイ出場し、色恋にドキドキした高校生活を送りま

した。当時私は既に日立製作所に就職が決まっていたのですが、電気科に入ったからには、電気では一番の北海道電力を目指し、先生に無理を言って北電を受けさせてもらいました。当時倶知安高校に来た枠は1名で、クラスのトップと問題児の私が1名受ける形になりました。筆記試験はそれなりでしたが問題は面接でした。電氣的な面接が殆どで、私は面接がやばいと言われておりましたが、ここでトイレの神様が舞い降り、面接の途中にトイレで用を足している時に、既に終わっていた大学生が「水力発電の水力の種類を言えるか、俺は言えた」などと話していたのを聞いていて、ペルトン、カプラン、フロンシスという名前が残って、大学生は大変な事を聞かれるんだなと思いきや、私が面接の時に「松本さん水力発電の～わかりますか？」と言われ、キターと思い、ちょっと迷ったふりをして「ペルトン、カプラン、フロンシス、でしたか？」と答え、面接官はその答えを聞いて、私を二度見するという行動を取り、面接は手ごたえあり。その後剣道の話も聞かれました。水を得た魚のように立ち回り、クラストップの人間が落ち、私が合格するという結果に学校は大騒ぎになりました。

ここからが第1のターニングポイント、北海道電力入社という形になります。入社後私は配電課という所に回され、当時は入社後に配属先が決まったら、自分の進む道が決まってしまう事でした。発電所であれば、それからはずっと発電所を回る事になります。私は鉛筆でも転がして配電課になったのだと思いますが、配電とは、先ほどお話しした通り電柱から皆様のご自宅へつながるまでの、新設したり撤去したり、保守していく仕事です。まさしく24時間ライフラインを守る仕事のスタートでした。天候が荒れて停電になれば呼び出されて復旧に当たります。災害があれば何日も帰れない日々が続きます。明かりがついた時の感動が忘れられず、それが職業病となります。数多くの災害に携わりましたが、一番の記憶に残るのが3.11、東日本大震災です。全てが破壊状態の中で、当時私は札幌工事グループに所属しておりましたが、私が指揮を取り北海道から発電機部隊11台、復旧工事班7班、計60名を引き連れて現地に向かいました。現地には津波で復旧する設備がありません。

物が全て流されておりました。私達は唯一津波被害の少なかった、宮城県大崎市に向かい復旧作業に当たりました。地域には食料を求めてコンビニに並ぶ子供達、燃料を求めてガソリンスタンドに並ぶ人々、それぞれの間模様を目の当たりにしましたが、懸命に復旧を行って、食料が厳しい中、多くの方々から差し入れをいただき、電気が付いた時、回りから大きな歓声をいただき、疲れが吹っ飛んだ記憶がございます。復旧してその地域から去る時は、手を合わせて感謝の気持ちを沢山いただきました。色々な経験をしながらライフラインを守るという使命のもと、災害や停電の早期復帰の大切さを実感していると共に、しっかりと若者への指導、技術継承をしていく事が私の役割とっております。震災以来、エネルギーに対する考えが大きく変わって来まして、再生エネルギーの割合が多くなってきました。各種のエネルギーをミックスして良質な電気をお届けしたいとっております。

第2のターニングポイント結婚ですが、結婚は22歳、一つ年下の高校の後輩、妻の出身は京極町、農家の三女、収穫時になると日本手ぬぐいを頭に巻き、一瞬にして私は農業青年に早変わりします。毎年手伝いに行き、収穫が終わる時には「またこの時期にね」と言われるようになりました。付き合ってから4年、結婚して34年、38年間今の家内と一緒にですが、隠し事は既に見破られる状態で、それほど長くなりました。結婚して長男が生まれた後、4年後に三つ子が生まれました。双子と言われていて、健診にいていた妻からいきなり電話が来て、すぐに病院に来てと言われ、先生から心音が3つ聴こえると言われ、「双子ではなく三つ子です。今なら間に合う、一つは消せる」と言われました。私も妻も一瞬嫌な事を考えました。ただ、心音を聞いた私達は産むという決断をして、出産当日、病院には3台の救急車が用意され、子供達は体重平均1200g、取り出された順からセンターに搬送され、1ヶ月半お世話になりました。その後娘の心臓の手術、へその緒から肺呼吸に変わる、その弁があるのですが、その弁が閉じないという事で切る事になりました。その時にこんな小さい子が心臓の手術をしているのに、当時私は右手が動かなくて手術をするかどうか迷っていたのですが、すぐ病院へ行って手術をして

## 第5回 8月5日(水) 天候/晴

---

もらう事にしました。当時は色々な事がありまして、医療費が750万円もかかり、とても払える金額ではありませんでした。国の医療制度の適用で何とかりましたが、それからは子育ての地獄が始まり、無我夢中で育児に専念しました。3人分の子供にミルクをあげるのにも手が足りず、4歳になる長男が助けてくれました。子育てをする妻の休息時間は月に2回お願いしていたベビーシッターが来てくれた時でした。周りの皆さんは親御さんに頼んだらと言いましたが、親が来たら来たで妻が気を遣うという事で、社宅の皆さんに助けていただきました。まさに遠くの親類より近くの他人です。生まれた子供の特注の三連の乳母車に乗せて買い物に行くのが私はとても嫌でした。周りの目で、「3人、三つ子、みんなまともなの？」心無い言葉を浴びせられ落ち込んでいると、妻から「何を気にしているの！何が恥ずかしいの！これから毎日だから、慣れなさい！」と一喝された事を25年経った今でも心に残っています。長男を筆頭に、下の子の成長と共に掛かる費用は全て3倍。幼稚園、小中高は家計が火の車。おかず1品の時もありました。家族みんなで何とか人に言えない「家族の秘密」を作って乗り切った事が懐かしく思います。現在、長男29歳、下は25歳、それぞれの道を進んでおり、3人が結婚、そして4人の孫に恵まれ、子育ての責任の無いのはこんなにも楽なものなのかと思うこの頃です。

第3のターニングポイント剣道ですが、子供達が生まれて1年後に、当時景気が良かった当社で、自主テーマ研究という会社から100万円を貰い、海外で1ヶ月間自分一人で研修を行うというものです。アポ取りから旅費の手配まで全て一人でやるのが条件。自分でテーマを考えて、論文・重役へのプレゼン・英語面接の3つをクリアし、海外へ…。大学卒しか応募しない研修に高卒の私が応募して合格ですから会社もざわつきました。周りから「4人の子供を置いて…えっ？…鬼！」と言われながらも単身ヨーロッパへ。「平成の侍、西洋をたずねる」というテーマで、ヨーロッパ(フランス、イギリス、ドイツ)を回り、剣道を愛好する各国のナショナルチームと竹刀を交え、今まで武道に向き合っていた自分を全面否定されるくらい衝撃を受けました。西洋に伝わるフェンシングも体験

し、文化の違いを体験。ドイツでは、全ドイツ剣道大会のファイナルの審判も務める事ができ、短期間で見聞を広める良い経験が出来ました。そのお陰で今までの剣道に対する取り組み方、考え方が大きく変わりました。帰国後6段に合格し、その後、教士7段と現在の自分があります。社会人になって今も剣道を続けているのは、剣道をしている事で会社に採用されたと感謝を忘れないためでもあります。会社に入ってから剣道部を作り、現在では監督を務め、全国電力剣道大会、全日本実業団大会に出場するまでになりました。私自身の支えになっている「剣道」を生かし、転勤した先々で交剣知愛、剣を通してお互いを理解し合い、相手の立場を尊重し、感謝の気持ちを忘れない。仲間を作る事が出来ました。剣道が盛んだった留萌市も時代とともに、剣道人口が減り寂しくなっていますが、留萌市内で練習するほかに近隣の道場にも出向き、稽古をいただきながら生涯剣道を求めて、時間の許す限り稽古を積み重ねて参りたいと思います。転勤によって各地の多くの方と知り合い、交流を深めて来ましたが、留萌には個性的で魅力のある方が多く、この出会いは自分にとって大きな財産となっており、留萌での生活を大いにエンジョイしたいと思っています。

黄金岬の地、留萌の街で食と夏の暑さを感じ、オロロンラインの魅力を感じております。これから極寒の日本海を体感する冬の厳しい留萌の洗礼を受ける事がほんの少し楽しみです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。